

『卒業生はみんな立派な社会人!』

根室 育英塾の岸部塾長は「ステップゼミナールのすごいところは、卒業生がいつも塾に来ていて」と褒めてくれる。

何年か一度、一年に何回か、一月に何回か顔を出してくれる。塾生に差し入れのお菓子やジュース、暑い日にはアイスを持って。

その中でも今回の25周年の会を企画してくれたのが、いつもいる6期生(32歳)の岩淵鉄平・菅原宏・鈴木亮平、中島紳護・野澤圭君の5人だ。中学生のときの彼らの学力はいまいまだだったように思うが、社会人になってから力を発揮している。社会では出まかせでなく、責任感や正義感、コミュニケーション力を持った人間力であることが彼らを見ていると実感する。

参加してくれたのは2期生の三ツ石(森) 弥葉子さん、佐久間貴史君、4期生の内藤裕孝・土師拓也君、6期生の堀江加奈さん、8期生の佐々木卓也・佐藤純一君、9期生の宮近友梨さん、10期生の大畑尚代さん、12期生の大畑徳真君、14期生の江口恵・工藤愛裕詩さん、15期生の高橋舞さん、17期生の栗野秀哉・江口涼・小林昭彦君、18期生の田垣紗稀さんの36歳から20歳までの23名だった。

茨城と福島にいる7期生の渋谷優君と10期生の渋谷芳親君、4期生の寺内(大友) 梨絵さん、6期生の大友崇弘君からは花が届いた。

毎年、生徒が卒業していくのを繰り返して25年経った。塾は常に

変わらぬ同じことを続けてきた。その時々で力いっぱい。全員のスピーチを聞いて改めて実感したことがある。長時間の勉強と大量の宿題、理不尽に不平等に耐えたこと(特に男子)がみんなの今の人生の土台となっていることが。あつという間に時が流れ、彼らは知らぬ間に大人になっていた。

卒業生のお母さんから身に余るメールをもらった。塾長先生、今日はおめでとうございます。すっかり、御無沙汰しておりますが、今日、この日を心からお祝い申し上げます。

塾長先生の愛がこもった生徒との関わりがこどもたちによって、今日のお祝いとなったと思います。我が家にはなくてはならない恩師であり、感謝しき

れないほど支えて頂いています。本来なら、私も是非参加したかったのですが帯広からお祝い申し上げます。これからも益々のご活躍を願っております。

また、渋谷君のお母さんにお礼の電話をしたときにも「息子たちは、今の自分たちがあるのは塾のおかげだと事あるごとに言っている」。兄弟二人の大乗毛からの送り迎えは大変で、時には午前0時を回ることもありましたねと。二人とも家から近い釧路高专、そして一流企業へ就職した。

よく言われる「塾のお陰で」と。しかし、いつも言っているようにステップゼミナールの卒業生がすごいのだ。そして保護者の方の理解があつて成り立ってきた。ゲーム機を没収され、坊主にされ、竹刀で殴られる、女子は髪を短く切り、携帯は解約。それでも自分の目標に向かい達成していった充実感が、彼らを支えているように思う。



25年間を昔の懐かしい写真を見ながら振り返る



6期生で14年度J C専務理事になる予定の菅原宏君の挨拶。



6期生でKDS指導員の鈴木亮平君の司会で会が始まった。



市立病院で看護師をしている9期生の宮近さん、卒業後14年ぶりでした



大学で経済学を学んだのにソムリエの道に進んだ大畑君(試験に合格した)



自分の結婚式も間近に控えているの率先して準備してくれた岩淵君



14期生で千歳空港に勤務する工藤さんとヨガのインストラクター江口さん



8期生で困ったことがあると塾に来る北病院の作業療法士、佐々木君



大学卒業後消息不明だった8期生の佐藤君、結婚して子供が生まれたばかり



6期生の堀江さんと野澤くんの子ども3人から花束と記念品が



6期生がボンコツ17期生と名付けた浪人生の栗野、江口君とアルバイト中の小林君



作業療法士になった13期生の佐藤さんと10期生の大畑さんが孝仁会病院に



J A Fの内藤君の二次会への挨拶



二次会に岩淵君の子どもゆずちゃんも参加



2時間半ほどの会の最後に記念写真を

自立し、社会が必要とされる人、社会に貢献できる人を育てることがステップゼミナールの使命だと思ってきた。今回、卒業生がそういう社会人となっていること実感した。建前論だらけの社会の中で本音で生徒と向き合ってくられた。

社会で頑張っている、これから社会に出るためにいま勉強している人たちと話をし、ステップゼミナール・スピリッツが確実に伝わっていることを知ることができた。

みんなのお陰で25年間やってこられたことに感謝し、自信を持って続けることができる。生きていくことが難しい時代の中で、多様な価値観を持ち、色々な経験をし、心に少しの余裕を持って「今を生きる」ことを大切に頑張ってほしい。みんな、ありがとう。



29日、突然5期生の畑本祐介君が塾に来てくれた。塾で同期だった成田琢也君の結婚式に出席するため函館から。ツルハの店長なので大変そうです。久々に顔を見せたら二児の父になっていました。

『異様な事件や事故・・・おかしい日本!』

東京都三鷹市で高校3年の鈴木沙彩さん(18)が刃物で切られて殺害された事件で、池永チャールストーマス容疑者(21)＝殺人未遂容疑で逮捕された。鈴木さんとは「フェイスブックで知り合った」と説明しており、かつて交際していたが、別れ話がつれてつきまといなどをするようになったとみられる。

10.9 MSN 産経ニュース

この事件に関連し、プロ野球ロッテの神戸拓光外野手(28)の友人が10日、同選手のツイッターで「自業自得」などと発言。非難が集中し、発言を削除していたことが分かった。

友人は被害者が容疑者と交際していたことなどを理由に同日午前、「今回のそれは【なるべくしてなった】・・・自業自得」などとツイッターで発言。

球団は「関与していなかったとはいえ、責任は免れない」と神戸選手に今月末までの自宅謹慎とブログ、ツイッターの閉鎖を命じた。

10.22 MSN 産経ニュース

携帯電話見ながら踏切に…電車にはねられ死亡

16日午後8時15分頃、東京都板橋区大山東町の東武東上線大山駅近くで、携帯電話を見ながら歩いていた同区内の無職男性(47)が、下りていた遮断機の隙間から踏切に入り、小川町発池袋行き快速急行電車にはねられ、全身を強く打って間もなく死亡した。

警視庁板橋署の発表によると、踏切は警報音が鳴り、両側から遮断機が下りていたが、男性は携帯電話を見ながら、中央のわずかな隙間を通り抜けて踏切に入ったという。

10.17 Yomiuri Online

携帯見ながら自転車走行、正面衝突で重傷負わず

大阪市北区の天神橋筋商店街で起きた自転車同士の衝突事故で、重過失傷害容疑で現行犯逮捕後、釈放された男性会社員(32)について、大阪区検は22日、過失傷害罪で略式起訴したと発表した。9日付。大阪簡裁は同日付で罰金20万円の略式命令を出した。

起訴状では、男性は4月10日夜、自転車で走行中に携帯電話の操作に気をとられて安全確認を怠り、対向の自転車と正面衝突。運転していた50歳代の男性を転倒させ、約5か月の重傷を負わせた、とされる。

10.23 Yomiuri Online

謝罪強要の疑いで43歳女を逮捕 店員に土下座させネットに投稿

札幌・東署は7日、札幌市の衣料品店で購入した商品が不良品だと訴えて従業員に土下座をさせた上、自宅に来て謝罪するよう約束させたとして、強要の疑いで札幌市白石区菊水元町10条、介護職員青木万利子容疑者(43)を逮捕した。土下座する様子を携帯電話のカメラで撮影していたという。東署によると、土下座の画像は短文投稿サイト「ツイッター」に投稿され、インターネット上で話題になっていた。

逮捕容疑は9月3日午後6時ごろ、札幌市東区の衣料量販店「ファッションセンターしまむら苗穂店」で「購入したタオルケットに穴が開いていた。店に来るのに費やした交通費を返せ」などと訴え、パート従業員の女性(32)ら2人に土下座をさせ、自宅に来て謝罪をするとの念書を書かせた疑い。

10.7 MSN 産経ニュース

建前論だらけの無責任な社会で過保護で育ったため、生きるために自分を守る自己防衛能力や危険を回避する能力が欠如している。

いじめられたから、体罰を受けたからといって簡単に命を絶ったり、ネットを

介した人間関係で事件に巻き込まれたり、常識はずれのパフォーマンス映像をネットに投稿するなどあまりにも軽率な行動ばかりだ。体罰やいじめが肯定される訳ではないし、ネットを否定する訳でもない。正しいこと、正しくないこと、やっつけていい事、やっつけてはいけない事の区別がつかなくなっている。一般の感覚では、メディアでは絶対に表現されない『自業自得』と言われても仕方がないケースあまりにも多い。とにかくSNS【Social Networking Service】を全面的に信用するのは危険だ。携帯やスマホ、SNSの利用には特に注意が必要だ。

『佐藤真海さんのIOC総会でのスピーチ』

私がここにいるのは、スポーツによって救われたからです。スポーツは私に人生で大切な価値を教えてくださいました。それは、2020年東京大会が世界に広めようと決意している価値です。

19歳の時に私の人生は一変しました。私は陸上選手で、水泳もしていました。また、チアリーダーでもありました。そして、初めて足首に痛みを感じてからたった数週間のうちに、骨肉腫により足を失ってしまいました。

もちろん、それは過酷なことで、絶望のふちに沈みました。でもそれは大学に戻り、陸上に取り組むまでのことでした。

私は目標を決め、それを越えることに喜びを感じ、新しい自信が生まれました。そして何より、私にとって大切なのは…私が持っているものであって、私が失ったものではないということ学びました。

私はアテネと北京のパラリンピック大会に出場しました。スポーツの力に感動させられた私は、恵まれていると感じました。2012年ロンドン大会も楽しみにしていました。

しかし、2011年3月11日、津波が私の故郷の町を襲いました。6日もの間、私は自分の家族がまだ無事でいるかどうかわかりませんでした。そして家族を見つけ出したとき、自分の個人的な幸せなど、国民の深い悲しみとは比べものにもなりません。

私はいろいろな学校からメッセージを集めて故郷に持ち帰り…私自身の経験の人々に話しました。食糧も持って行きました。ほかのアスリートたちも同じことをしました。私たちは一緒になってスポーツ活動を準備して、自信を取り戻すお手伝いをしました。

そのとき初めて、私はスポーツの真の力を目の当たりにしたのです。新たな夢と笑顔を育む力。希望をもたす力。人々を結びつける力。200人を超えるアスリートたちが、日本そして世界から、被災地におよそ1000回も足を運びながら5万人以上の子どもたちをインスパイア(激励)しています。

私たちが目にしたのは、かつて日本ではみられなかったオリンピックの価値が及ぼす力です。そして、日本が目の当たりにしたのは、これらの貴重な価値…卓越、友情、尊敬…が、言葉以上の大きな力を持つということです。

9.13 読売新聞

オリンピック開催が決まった。被災地の問題や原発の問題、沖縄の問題など様々なことが解決していないのに。今更、経済活性化のための商業主義オリンピックなどなんの意味もない。東北の復興、原発の処理が先だろう。しかし、パラリンピックは別だ。今や個人の成功や企業の利益のためのオリンピックと違い、オリンピック本来の意味を持っているのはパラリンピックの方だからだ。

「夢や希望や感動を与えられる」それが本来スポーツが持っている力だ。

東京開催が決まったのは、決して安倍首相のスピーチが良かったからではなく、佐藤真海さんのスピーチにみんなが共感したからだろう。口先だけでなく選手の活動支援や競技の中継などパラリンピックにこそ力を注ぐべきだ。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
						休塾	休塾	■美原・附属定期テスト	■鳥取定期テスト	■富原定期テスト	■鳥取定期テスト	■遠矢・鳥取西定期テスト	休塾	■数学検定	■中三学力Cテスト						休塾	●一〇〇〇分特講			■景中三年定期テスト	休塾	●中三生 午前授業	●中三生 関数特講	■漢字検定
														●高専で受検対策講座								●一〇〇〇分特講							

携帯電話の
教習所持禁止
連絡は塾の電話を使用
して下さい。

■11月の予定■

今年も残り二ヶ月で、入試まで一三〇日を切りました。11月は中学校も高校も定期テストがあり、中三生はさらに学力コンクール、学力Cテストがあります。定期テスト対策の一〇〇〇分特講は9日、10日で行います。各学年ともに二学期期末テストは大事なテストです。他にも漢字検定と数学検定もあります。漢字検定の取り組みは一ヶ月やってきましたので合格目指して頑張ってください。数学検定(希望者のみ)は16日午前10時からです。釧路高専の受験対策講座が9日と16日の二日間、午前10時から実施されます。高専受験を希望者している人は必ず参加して下さい。テスト範囲が出たら持つてくること、テストが終わったら得点通知表は必ず提出して下さい。

『11月はテストの月です!』